

2010年度を目前に  
より積極的に「プラン2010」を  
進めています。

「プラン2010」は、飲料用紙容器にかかる環境負荷削減に向けて容環協が作成した行動計画で、2010年度を目標年度に掲げています。

年間100億個近く使用される飲料用紙パック(以下紙パック)のリサイクル活動を通して、「環境保全型社会」への転換を目指すことは、容環協の社会的責任であると認識しています。目標年度を間近に控え、さらに「プラン2010」を積極的に推進しています。

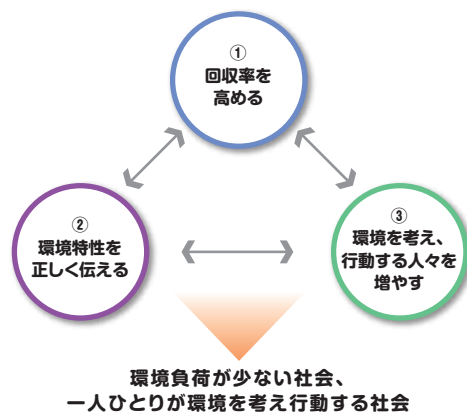


容環協HPより「プラン2010」の詳細がご覧いただけます。

## 【プラン2010の行動計画の目的】

- ① 紙パックの回収率を高める  
回収率50%以上で、環境負荷をさらに削減します。
- ② 紙パックの環境特性を正しく伝える  
バイオマス資源を利用する紙パックの環境特性を社会に正しく伝えます。
- ③ 環境を考え、行動する人々を増やす  
紙パックの回収率向上活動を通して資源や環境を考え、行動する人々を増やします。

### プラン2010の行動計画の目的

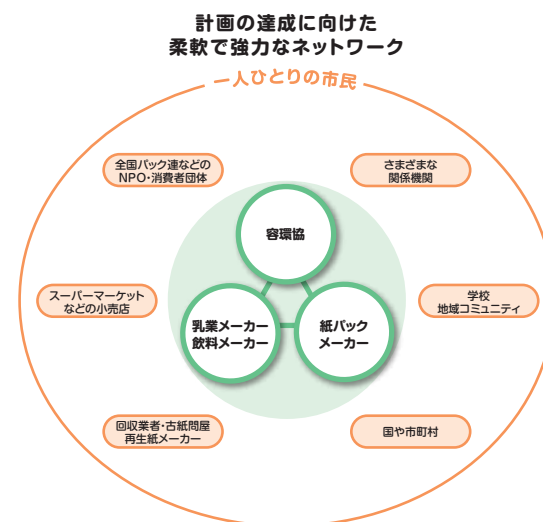


## 【具体的な行動計画】

- I 家庭系紙パックの回収率向上
  - 地域の回収力向上
  - 回収のきっかけづくり
  - 牛乳1,000ml以外の回収促進
  - 再生品の利用促進
  - 総合的かつ広範な啓発活動
- II 教育や学習の場における活動の促進
  - 教育・学習とリサイクルの協調
  - 学乳紙パックの回収率向上
- III 店舗などで使用される紙パックの回収促進
- IV よりよいコミュニケーションに向けた情報の整備

## 【計画の実現に向けて】

「プラン2010」の実現には、各種メーカー、小売店、学校、地域コミュニティ、回収業者、直納問屋、行政機関など、さまざまな組織や人との有機的なつながりが重要です。今後も幅広いネットワークを構築し、目標達成を目指します。



引き続き開催をバックアップ。  
海外の取り組みも  
紹介されました。

## 【3月11日】

2007年度よりスタートした全国パック連主催の「環の縁結びフォーラム」。2回目の今回は国、自治体、各種団体、関連企業など77名が参加し、容環協は協賛として開催を支援しました。

開会挨拶の後、経済産業省より「カーボンフットプリント制度の背景と考え方」と題する基調講演が行われ、商品やサービスにかかるCO<sub>2</sub>量をマークで明示するカーボンフットプリント制度が紹介されました。

また、地球緑化センター、ウェアハウザー社、日本紙パック(株)、古紙再生促進センターのパネラー4名が「植林から紙の製造、リサイクルまで」をテーマにプレゼンテーションを実施。森林づくり活動について、製紙事業における環境への取り組みについて、紙パックのCO<sub>2</sub>排出量の少なさについて、古紙利用の促進についてそれぞれ発表し、最後はパネルディスカッションも行われました。



容環協 山登会長による挨拶

## 【11月25日】

第3回目の今回は、国、自治体、各種団体、関連企業などに加え、韓国より特別に「韓国紙パック資源循環協会」の李会長を招き、計72名で開催されました。

李会長は「韓国のEPR制度と紙パックリサイクルの状況」と題し、容器利用事業者のリサイクルを義務付けるEPR制度の概要と、制度発足後に紙パックリサイクル率が大きく伸張した話などを報告。今後はさらにCO<sub>2</sub>排出量の少ない紙パック促進を行政に働きかける考えを示しました。

また、容器包装の環境に関するシンクタンクである(株)エコイプスより8月発行の書籍「紙パック宣言」の紹介、環境省より基調講演「容器包装リサイクル法の状況」が行われました。各地の事例も報告され、中部リサイクル運動市民の会からリサイクルステーション事業の活動について、西東京市ごみ減量推進課からゴミ減量・資源化の取り組みについて、城西牛乳(株)から山形市内の学乳紙パック回収についての報告が行われました。



全国パック連平井代表による挨拶

# 牛乳パックリサイクル促進地域会議

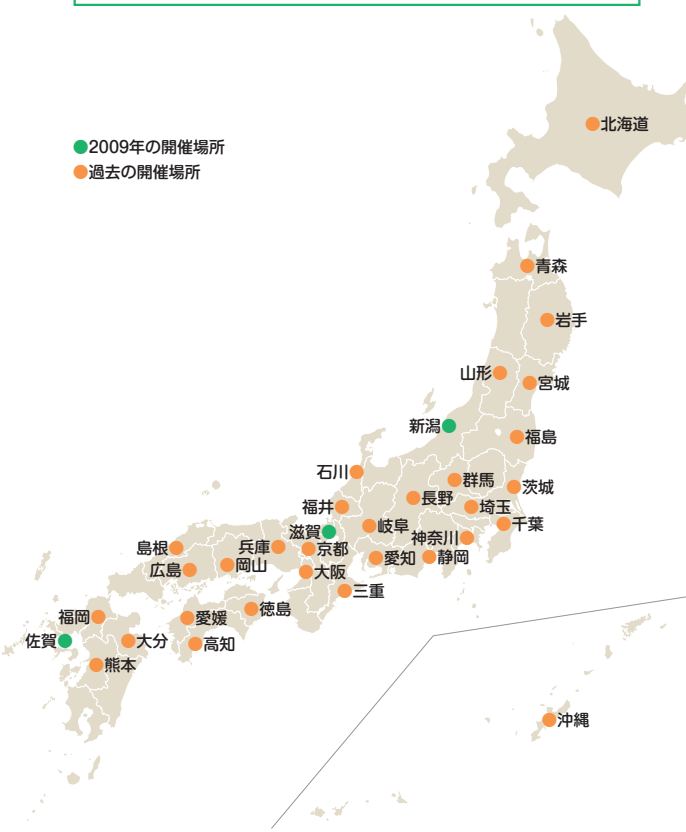
牛乳パックリサイクル拡大に向けて  
積極的な意見が交わされ  
さらに環境への意識を高めました。

容環協と全国パック連の共催により、全国各地で開催している「牛乳パックリサイクル促進地域会議」。2009年は佐賀、滋賀、新潟の3ヵ所で開かれました。この会議は、牛乳パックのリサイクルにおける地域ごとの取り組みや課題を把握し、リサイクル拡大に向けた情報交換を目的としています。

各会議には、自治体をはじめ、関連メーカーや回収業者、市民団体など多彩な関係者が参加。さまざまな事例が紹介され、関係者が互いに理解を深めるとともに、よりいっそうリサイクルを促進していく方法を検討しました。

## 地域会議の開催場所

●2009年の開催場所  
●過去の開催場所



## 牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 佐賀／佐賀市

◆開催日 2009年2月20日  
◆参加者 佐賀農政事務所、自治体関係者、市民団体、地元乳業メーカー・乳業団体、古紙事業者、製紙メーカーなど計39名

### 【主な報告や問題提起】

- 佐賀県の体育保健課は、ものを大切にすることを伝えるために始まった牛乳パックのリサイクルを、食育の場でも伝えたいと前向きな話がありました。
- 佐賀市では、500ml以上の牛乳パックを資源物回収の一環として収集。資源集団回収に対しても3円/kgの補助金を交付しており、集団回収の届出団体は約110あるとのこと。
- 鹿島市は1997年から、紙パックの拠点回収を実施。地区公民館6ヵ所、スーパー4ヵ所の計10ヵ所に拠点を設け、回収を行っています。各学校で「洗って・開いて・乾して」をしたものを、市が週2回収集し、家庭と合わせると年間14トン回収との報告がありました。
- 多久市は市民生活課から学校に学乳紙パックリサイクルを働きかけ、前任校で実施していた先生から他校へとひろがっていったとのこと。
- 佐賀市消費者グループ協議会は、年に1度の消費者フェスタで牛乳パックの回収を行っているとの報告。今年は使用済み牛乳パック20枚につきトイレトペーパーを1個進呈したところ、約3,000枚集まりました。



積極的な活動が報告された佐賀市での会議

## 牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 滋賀／大津市

◆開催日 2009年7月2日  
◆参加者 滋賀農政事務所、自治体関係者、市民団体、生協、地元乳業メーカー・乳業関係者、古紙事業者など計34名

### 【主な報告や問題提起】

- 滋賀県は2007年度のアンケートから、学乳紙パックリサイクルが県内9割の市町で実施されていると報告。地元乳業メーカーの日本酪農協同は、「県の畜産課がリーダーシップをとり、各市町教育委員会を動かしたことが大きい」と、取り組みを高く評価しました。
- 環境専門の生協である滋賀県環境生活協同組合は、牛乳パックの収集だけでなく、市民ネットワークを通じたオリジナルのティッシュペーパーとトイレトペーパーの作製・販売活動も紹介しました。
- 大津市リパック連絡会では、老人福祉施設などから牛乳パックを譲り受け、椅子や枕などの作品に再利用。地元のお祭りや環境イベントで販売し、収益を社会福祉協議会に寄付しています。
- 市民団体おおつ環境フォーラムは、「どの環境問題も元をたどれば家庭に行き着く。一人ひとりが考えなければ解決しない。牛乳パックもその一つ」と発言し、個人の意識の重要性を訴えました。



活発に情報交換が行われた大津市での会議

## 牛乳パックリサイクル促進地域会議 in 新潟／新潟市

◆開催日 2009年10月8日  
◆参加者 新潟農政事務所、自治体関係者、市民団体・個人、回収事業者、地元乳業メーカー・乳業関係者など計37名

### 【主な報告や問題提起】

- 新潟県は、31市町村中25市町村が2008年度に分別収集計画を策定。そのうち紙パックを分別収集したのは22市町村で収集量実績247トン、前年度の169トンに比べ大幅増との報告がありました。
- 牛乳パックや割り箸の回収を行っている三条市のNPOさんじょうからは、「ゲームを通してリサイクルの意義を実感できるような啓発ツールを開発してほしい」と、ユニークな提言がありました。
- 新潟市の回収業者であるヤマナリ猪又産業は、有名人タレントを起用したメディアによる啓発活動を提案する一方で、「長期的には地道にリサイクルの輪を広げていくしかない」と、草の根運動の大切さを訴えました。
- 1日に約8万本の学乳紙パックを取り扱う新潟県農協乳業では、リサイクルしやすいようストローはパックに貼り付けず別々に提供。回収後は回収業者に売却していますが、「今後は売却益の還元方法も考えたい」と積極的な意見も出されました。



さまざまな意見が出された新潟市での会議



# 牛乳パックリサイクル講習会

全国7カ所で開催。  
環境とリサイクルについて学びながら  
工作やはがきづくりも体験しました。

## 【蕨市】1月31日

埼玉県蕨市立北小学校で開催された会場には、雨にも関わらず小学生とその保護者、計19名が参加しました。低学年の児童も表情は真剣。最後は紙パックを利用した「びっくり箱づくり工作」を体験しました。

## 【昭島市】3月24日

高校生を含む47名が参加した東京都昭島市。回収システムの歴史やリサイクル啓発のテレビ番組などの紹介後、「手すきはがきづくり」に挑戦しました。回収方法の効率化などが議論され、より知識が深まったようです。

## 【品川区】7月17日

品川区では「牛乳パックではがきを作ろう」という講座名で開催。参加者24名が笑顔で紙すきを楽しみました。講演ではリサイクルの動向や現状とともに、品川区が扱う牛乳パック100%再生紙のトイレトペーパー「みどりの夢23」などが紹介されました。



紙パックを利用した「びっくり箱づくり工作」に挑戦（蕨市）

## 【渋谷区】7月24日

幼児から小学校6年生まで、幅広い年齢層の子ども23名が参加しました。子どもたちは、1,000ml牛乳パック30枚からトイレトペーパーが5個もできると知りびっくり。「手すきはがきづくり」も盛況でした。

## 【西東京市】7月30日

西東京市は、地域の環境学習拠点「エコプラザ西東京」で開催。参加者62名のうち、50名が小学生でした。森林管理とリサイクルの現状に関する講義の後、実際に牛乳を飲んで紙パックの手開きと「手すきはがきづくり」を体験。児童からは歓声が上がりました。

## 【日進市】8月4日

リサイクル活動にひときわ力を入れる愛知県日進市。小学生40名が参加し、講義を興味深く聞いていました。紙パックの手開き講習では慣れた手づきの児童も。最後に「手すきはがきづくり」と「びっくり箱づくり工作」の両方を体験し、大満足の表情でした。

## 【蕨市】8月21日

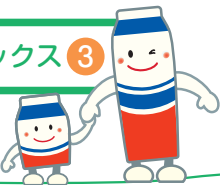
2009年2回目となった蕨市は、「夏休み環境教育・体験講座」として北町公民館で開催。学校で牛乳パックのリサイクルを実施している蕨市立北小学校の児童6名が参加しました。講義でさらに理解を深めた後、「手すきはがきづくり」を体験しました。



牛乳を飲んで、手開きを体験する児童たち（西東京市）

# 牛乳パックリサイクル出前授業

活動トピックス 3



牛乳パックリサイクルを  
より身近に感じてもらう授業を  
小学校で開催しています。

2008年より、全国パック連と共催で進めている「牛乳パックリサイクル出前授業」。牛乳パックおよび学乳パックのリサイクルに取り組む小学校に出向き、講義や「手すきはがきづくり」を通じて、リサイクルの重要性を訴えています。今年は以下7校で行いました。

## 【金沢市立泉野小学校】1月23日

4年生93名を対象に行いました。全校で牛乳パックの回収を実施している泉野小。児童たちはリサイクルに関する知識も豊富で、講義やはがき作りに意欲的な姿勢を見せていました。

## 【広島市立仁保小学校】2月13日

迎えてくれたのは4年生110名。リサイクルの意味やCO<sub>2</sub>削減などの講義後、クラスごとに「手すきはがきづくり」を体験しました。紙ナプキンの絵柄をすき込んだ作品は、どれも個性的でした。

## 【広島市立温品小学校】2月13日

4年生83名を対象に実施しました。講義では熱心にメモを取りながら耳を傾ける児童が多く、その後の「手す



メモをとり、熱心に授業を聞く児童たち（広島市立温品小）

きはがきづくり」でも目を輝かせていました。

## 【大阪市立弁天小学校】6月12日

4年生87名を前に授業を行いました。弁天小では学乳がびんで提供されるので、講義ではびん容器のリユースについても紹介されました。紙すき体験では、自作のはがきに感動した様子でした。

## 【尼崎市立若葉小学校】9月10日

学乳はびん提供にも関わらず、校内の回収ボックスで家庭の紙パックを回収するなど、活動に積極的な若葉小。3・4年生63名を対象に行った今回の授業でも、紙パック再利用のプロセスを楽しく学びました。

## 【日進市立西小学校】10月17日

PTA主催の出前授業として、保護者17名、児童25名、計42名を対象に行いました。講義や紙すき体験で見せる参加者の真剣な表情に、紙パックリサイクルを通じて環境対策を訴える大切さを実感しました。

## 【垂井町立岩手小学校】10月27日

戦国時代の名軍師竹中半兵衛陣屋跡近くの歴史ある町並みに位置する岐阜県の岩手小。3・4年生43名が、クイズ形式の授業でリサイクルの理解を深めました。紙すき体験では、完成したはがきを見せ合って喜ぶ姿も。最後は感謝の言葉に見送られ、スタッフも嬉しい気持ちでいっぱいでした。



「手すきはがきづくり」に興味津々（尼崎市立若葉小）





220名の参加者が手開きを体験。  
有意義なイベントとなりました。

## 【エコライフフェア】6月6日、7日

今年も、環境省などが主催する環境に配慮したライフスタイルの啓発イベント「エコライフ・フェア2009」に出展しました。今回は3回目の出展となり、ブースでは全国パック連と協働でパネル説明や「手すきはがきづくり」を行いました。

昨年に引き続き、特設テントでリサイクル体験のワークショップを実施しました。参加者はリサイクルについてパネル説明を受けた後、実際に牛乳を飲んで紙パックの手開き体験に挑戦し、100%牛乳パックリサイクルのティッシュペーパーを持ち帰りました。ワークショップは初日の悪天候にも関わらず、2日間で用意していた220名分すべてがなくなる盛況ぶり。説明を聞く参加者は真剣そのもので、紙パックの特徴やリサイクルの大切さを理解していただいた有意義なイベントとなりました。



ブースでの啓発風景



ワークショップの様子

今年も国内最大の環境展に出展し  
楽しい企画が好評を博しました。

## 【エコプロダクツ2009】12月10日～12日

国内最大級の環境展「エコプロダクツ2009」が、東京ビッグサイトで開催され、過去最高の182,510人の来場者を記録しました。

連続6回目の出展となった容環協のブースは、今年もさまざまな企画で賑わいました。恒例の「牛乳パック壁面展示」では、全国の牛乳メーカーから提供された大小あわせて1,071個の紙パックを展示。小学生の作品による「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」の受賞作品の展示や全国パック連の協力による「手すきはがきづくり体験」なども好評でした。

また「牛乳パッククイズ」では、11枚のパネル展示で紙パックリサイクルが学べるよう工夫を凝らし、2,000人を超える方から回答をいただくことができました。



子どもたちも興味津々の容環協ブース



「手すきはがきづくり」に挑戦する来場者

最優秀賞は6年連続で応募した  
山本恭輔さんの  
「牛乳丸」が受賞しました。

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は、小学生を対象とした牛乳紙パック工作コンクールです。9回目を迎えた今年は、全国より6,130点もの応募があり、厳正な審査の結果8点の受賞作品が選ばれました。



最優秀作品「牛乳丸」  
山本恭輔さん（千葉県／小学6年生）

## 《受賞作品》

- ◆最優秀賞 「牛乳丸」  
山本恭輔さん（千葉県・千葉市立作新小学校6年）
- ◆優秀賞 「トビウオ」  
佐藤広菜さん（栃木県・足利市立久野小学校5年）
- ◆優秀賞 「デコレーションケーキ」  
秦まりなさん（和歌山県・和歌山市立三田小学校2年）
- ◆全国小中学校環境教育研究会賞 「くるくるどり」  
菱沼華乃さん（東京都・千代田区立千代田小学校2年）
- ◆全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞  
「折りたたみボックス」  
尾崎穂乃香さん（愛知県・豊橋市立向山小学校6年）
- ◆全国牛乳容器環境協議会賞 「牛うま王の牛かぶと」  
久保田真人さん（静岡県・静岡市立賤機中小学校5年）
- ◆日本酪農乳業協会賞 「ぎゅうにゅうパックのほり絵」  
中山梨瑚さん（福岡県・北九州市立黒畑小学校3年）
- ◆テトラパック賞 「ホワイトドラゴン」  
吉川泰生さん（千葉県・佐倉市立西志津小学校1年）

最優秀賞に選ばれたのは、牛乳パックで帆船を美しく表現した、山本恭輔さんの「牛乳丸」です。山本さんは6年連続で応募し、小学生最後となる今年、見事最優秀賞に輝きました。

受賞作の表彰式は「エコプロダクツ2009」の容環協ブースで開催。実行委員長の容環協・山登会長をはじめ、審査委員長、審査委員から受賞者一人ひとりに賞状・盾・副賞が贈られました。

受賞作品は、容環協の子ども向けホームページ「牛乳パックン探検隊」でご覧いただけます。



最優秀賞受賞の山本恭輔さん（右から二人目）



エコプロダクツ2009で行われた表彰式





# 今年出版された容環協の刊行物

## 「紙パック宣言」

原料から生産・流通、リサイクル、再商品化まで  
紙パックの一生を通して  
地球環境や社会を見つめる一冊です。

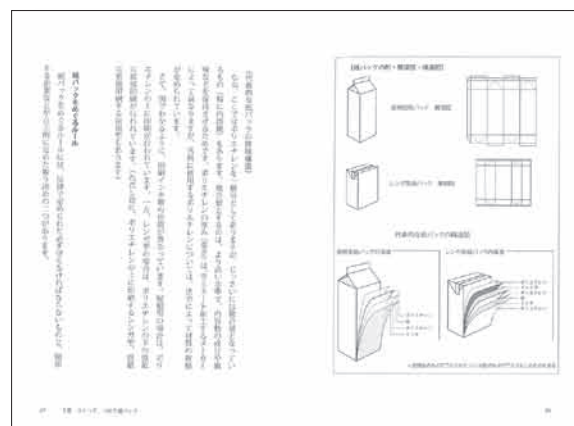
紙パックの環境特性を正しく伝えることで、一人ひとりが環境を考え行動する社会となり、その結果として紙パックリサイクルの回収率が向上することを目的として、容環協では8月に「紙パック宣言」を出版しました。

植林のことや樹木の端材や間伐材が主原料である原紙の製造から、製品の生産・流通・消費、その後のリサイクル・再生利用まで、紙パックが辿る道筋をトータルで描き、「もったいない」を子どもたちに伝えようと始まった市民自体によるリサイクル運動の歴史や教育現場での取り組みまで紹介しているユニークな本書。リサイクルの知識、環境への意識を深めながら、地球の未来へ向けた提言となるよう制作しました。また、日頃の活動で広く伝えたいと感じた内容を、写真やイラストを交えてわかりやすくまとめているのも特徴です。

監修は、環境政策・廃棄物リサイクルなどで著名な早稲田大学政治経済学術院の寄本勝美教授。著者には、容器包装の環境に関するシンクタンクの㈱エコイプスの猪瀬代表、全国パック連の平井代表、および容環協から紙パックメーカー・乳業メーカー・事務局の7名が参画しました。



表紙には「スロー ライフ スロー リサイクル」の文字



本文では紙パックの歴史などを丁寧に解説

### 【構成】

南方熊楠の「ことがく」から学ぶ 寄本勝美

#### 1章 紙パックスタイル

ニュースにならない紙パック／紙パックの歴史／容器スタイル

#### 2章 木を育てる、森と生きる

ふるさとの森／持続可能な森林管理／人工林と原生林／原紙の作り方／バイオマスとカーボンニュートラル

#### 3章 つくって、つめて紙パック

カートン工場／中身をつめるー牛乳工場探訪／紙パックの構造とルール

#### 4章 お店と家庭で

お店と家庭で守る安全／キッチン・テスト／洗って、開いて、乾かして

#### 5章 「もったいない」を伝える

リサイクル運動の始まり／環境教育サポート／学校給食の紙パックリサイクル

#### 6章 再生する紙パック

飲み終わった紙パックの回収／古紙問屋／再生紙ができるまで／暮らしに戻す／紙パックリサイクルの事業化

#### 特別編 紙パックとライフサイクルアセスメント

発行所：日本評論社 定価1,500円

## 「牛乳パックリサイクル 全国20事例集」

各地域のリサイクルの取り組みを  
集めた第2集。  
最新の事例が満載です。

各地域のリサイクル問題解決や回収システム推進の一助となることを目的に、全国パック連と容環協が協働で「牛乳パックリサイクル全国20事例集」を発刊しました。過去に紙パック再資源化の成果をまとめた紙パック回収事例集を発刊しましたが、今回はその第2集です。第1集の発行後、リサイクル活動がさらに広まったことで、これから回収事業に取り組もうという方や回収効率のさらなる向上を目指す方の声も高まり、この第2集につながりました。

今では店頭回収、自治体回収、集団回収の3ルートが確立されている回収システムですが、分別回収を行う際の理解や工夫は重要な課題です。本書では全国の市民団体、自治体、事業者各分野での現在の状況に即した最新実践事例を紹介。回収の特徴や仕組みもわかりやすく盛り込み、リサイクルのさまざまな課題にヒントを与えています。



第2集目となった事例集

## 「牛乳パックでつくってあそぶ リサイクル工作室No.2」

牛乳パックを使った  
工作室シリーズの  
続編を発行しました。

2000年3月に発行した「牛乳パックでつくってあそぶリサイクル工作室」から9年。紙パックが丈夫で良質な資源であることをより広めるため、今年6月に続編「牛乳パックでつくってあそぶリサイクル工作室No.2」を発行しました。

えんぴつ立てや手すきはがきなど、実用品が多かった前回に比べ、今回は指でたたくと歩き出す「かにさん、ピョコピョコ」や水の上を輪ゴムで動く「パタパタ舟」など、動かして遊べる工作を中心に、計10点の作り方を掲載しています。容環協のメンバーが自ら試作とチェックを繰り返し、数ある候補の中から作りやすく動きの面白いものを厳選しました。

また前回に続き、「牛乳パックって何からできるの?」「地球に協力しよう」など紙パックリサイクルを促進するコラムを併載し、工作を楽しみながらリサイクルへの興味・関心を喚起する仕掛けになっています。

容環協ホームページからも内容をご覧くださいので、ぜひ学校やご家庭でチャレンジしてください。



親しみやすいイラストで工作を紹介



# 容環協の取り組み

## リサイクル促進意見交換会

各省庁、自治体、団体の  
取り組みを報告し、  
回収拡大を目指しています。

### 【全関係者との意見交換会】2月4日

東京・千代田区の乳業会館で、国、自治体、市民団体、乳業メーカー、紙パックメーカー、原紙メーカー、再生紙メーカー、流通事業者など、関係団体50名が参加する意見交換会を行いました。

農水省からは、地方農政局事務所が地域会議に出席して紙パックリサイクル促進に協力すること、経済産業省からは、2007年4月の改正容器包装リサイクル法施行に伴いCO<sub>2</sub>発生抑制の取り組みがいつそう求められていること、古紙利用率62%を目標に取り組んでいることが報告され、文部科学省からは、2008年6月の学校給食法改正により環境保全に関する目標を追加、学乳紙パック回収状況の調査を行いたいとの発言がありました。また、乳業メーカーから、全従業員対象の回収運動や地域ごとの紙パックセミナー・講習会の実施報告、再生紙メーカーから、環境啓発を目的とした工場見学の実施報告、学乳紙パック回収拡大には自治体の積極的な指導が必要との意見、流通事業者から、コンビニ回収が今後の課題であるとの提案が出されました。

容環協からは、今後拠点を拡大し、さらに事業系の回収量を増やすため、大手のチェーン店舗と使用済紙パック

の回収について話し合ったことも報告されました。

### 【再生紙メーカーとの意見交換会】7月22日

再生紙メーカー2社、原紙メーカー、シンクタンクなどから21名が参加し、静岡県富士市にて実施しました。

まず飲料用紙パックリサイクルの現状と動向に関する基本調査について容環協が概要を報告。補足的にシンクタンクから、回収率の上昇が調査対象の見直しによる店頭回収量の増加に起因していること、学乳紙パックに関しては、乳業メーカーへ引渡しせずに、学校で独自処理しリサイクルする学校が増加してきていること、紙パック再生品であるトイレットペーパーの生産量が減少傾向にあることなどが付け加えられました。

再生紙メーカーは、市場に季節変動があり、特に秋は在庫を抱えやすいこと、上質古紙の価格がこの5年で約10円下がっており、現状では牛乳パックの方が高額で取引されていること、再生品の牛乳パック配合率と生産量の関係はパルプ価格が寄与していることなどを指摘。他にも、行政に関心を求める声、学校中心に活動を展開する利点と課題、関係各団体の若返り化の必要性などが挙げられ、活発な意見交換が行われました。

## その他の活動

ホームページでの情報発信、  
回収ボックスの設置、環境キャンペーンで  
リサイクルの環を広げています。

### 【ホームページ】

容環協のホームページは、最新情報を随時更新。「牛乳パックリサイクル促進地域会議」や「牛乳パックリサイクル講習会」、各地の小学校への「出前授業」の様子、各年度の年次報告書、中期行動計画「プラン2010」、リサイクル事例、各会員企業の活動などがいつでも閲覧できます。リサイクルの流れや回収率は図表を交えて解説。キャラクター「牛乳パックン」を随所に配置するなど、わかりやすさ、親しみやすさを心がけています。

また、小学校の中・高学年向けに「牛乳パックン探検隊」というサイトも開設しています。「牛乳パックンの秘密を探しに北の森へ」など、森林からリサイクルまで、豊富な写真で楽しく学べるサイトです。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.yokankyo.jp>  
牛乳パックン探検隊 <http://www.packun.jp>

### 【回収拠点拡大活動】

全国パック連と容環協は、牛乳パックの再生紙を使用した牛乳パック回収ボックスを製作、全国各地に提供しています。おかげさまで2009年9月には設置数が17,000ヵ所を突破。今後は20,000ヵ所を目標に拠点拡大を目指します。また、啓発ツールセット「メッセージBOXキット」を市町村のリサイクルセンターなどで設置しておりますので、ぜひご覧ください。

### 【環境キャンペーン】

飲料用紙パックの利用者へ広く理解を求めるため、容環協では毎年6月の環境月間と10月の3R推進月間に、「環境キャンペーン」として飲料用紙パックに下図のような環境メッセージを掲載しています。6月は全国24社より約2,710万個、10月は25社より約2,620万個の商品に掲載。今後も掲載対象商品の拡大と、通年掲載の継続を推進していきます。なお、ご協力いただいた全商品のパッケージデザインを容環協ホームページで紹介しています。



各関係団体が一堂に会した意見交換会の様子



再生紙メーカーから活発な声が上がった意見交換会の様子



各カテゴリーをわかりやすく配置した  
容環協HP



リサイクルを牛乳パックと一緒に学べる  
小学生向けサイト



掲載している環境メッセージ